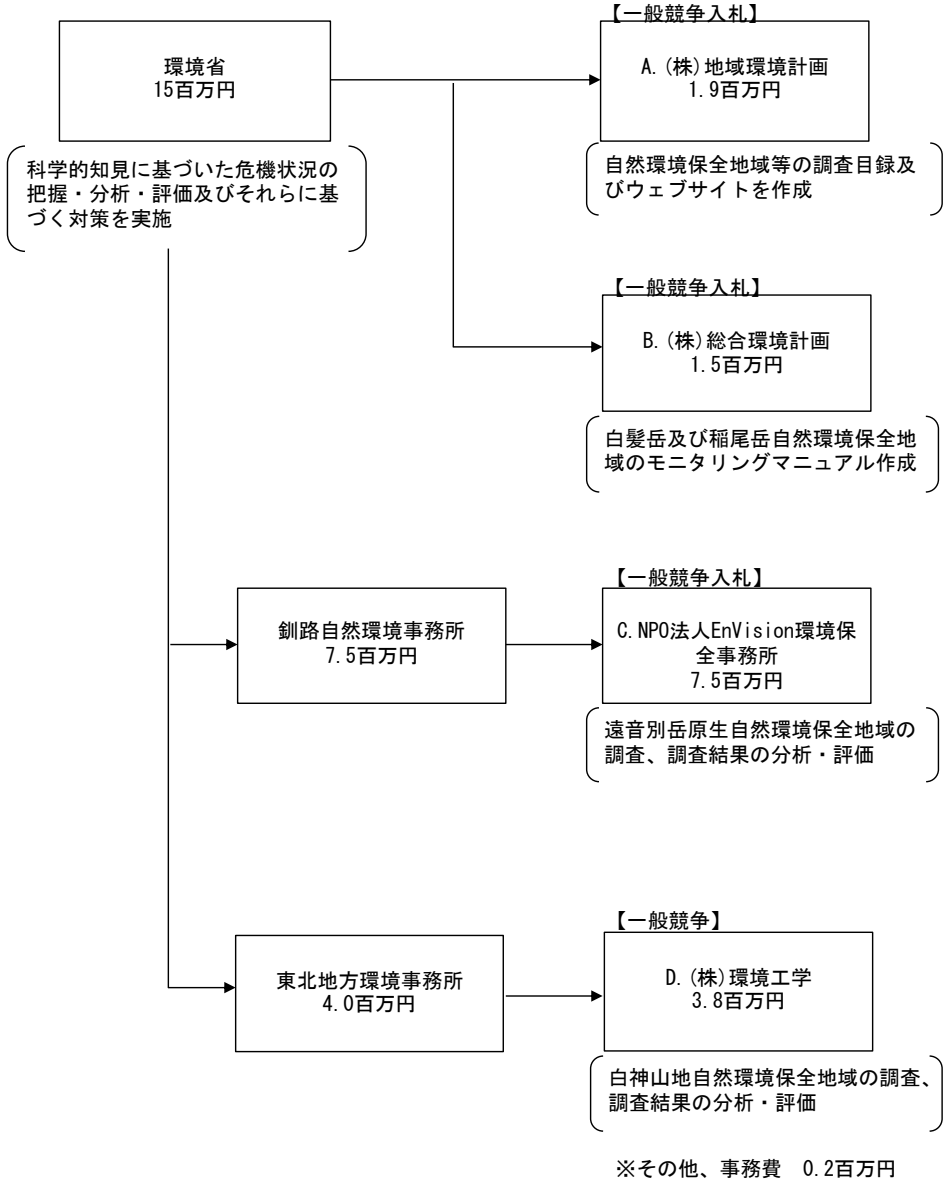


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	原生的な自然環境の危機対策事業	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	自然環境計画課	課長 塚本 瑞天			
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然環境保全法第30条の2及び第30条の3等	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	自然環境保全地域等は、国土の生態系ネットワークの核となる部分を形成しており、我が国の生物多様性の保全上極めて重要な地域であるが、シカの食害等による生態系の攪乱など、原生的な自然環境の危機へと繋がる重大な問題が発生している。本事業では、科学的知見に基づいた危機状況の把握・分析・評価及びそれらに基づく対策を実施することにより、当該地域の適切な保全管理の実施を目指す。						
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域について、専門家等の協力を得て現地調査や情報収集等を実施することにより、科学的な知見に基づき、危機状況の把握・分析・評価を行い、必要とされた対策を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	10	13	7	5
		補正予算	-	0	0	0	
		繰越し等	-	0	0	0	
		計	-	10	13	7	5
	執行額	-	10	15			
執行率(%)	-	100	115				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	自然環境保全地域等の適切な保全管理の実施 (当該地域の適切な保全管理を図る事業のため、定量的な成果目標を示すことは困難)	成果実績		—	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	自然環境保全地域等の危機状況の把握・分析・評価及びそれらに基づく対策の実施	活動実績 (当初見込み)	箇所	—	3 ( 3 )	4 ( 4 )	— ( 3 )
単位当たり コスト	3.75(百万円/1地域)		算出根拠	平成23年度予算額/危機状況の把握・分析・評価及び対策を行った地域数			
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	7	5				
	計	7	5				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	原生自然環境保全及び自然環境保全地域は、人為の影響をほとんど受けていない原生的な森林や、固有性・希少性の高い生物種の生息地など、我が国の生物多様性の保全上極めて重要な地域であり、それぞれの地域については、自然環境保全法に基づき、国が保全のための事業を行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、少額のを除き一般競争入札に付し、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	地域の実情を踏まえた調査内容にするとともに、前年度の調査結果を踏まえモニタリングマニュアルを作成するなど、今後適切な保全管理を継続的に進めていくための事業を展開した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度から実施している自然環境保全地域等における危機状況の把握・分析・評価に加え、平成23年度からは前年度の調査等結果を踏まえ保全上必要な対策を検討・実施している。</p> <p>平成23年に実施した調査及び対策は、今後の効果的かつ効率的な保全対策に有効に活用されるような内容となっており、また支出先の選定にあたっては競争性を確保するなど、本事業についてはその目的に沿った効率的な予算執行が図られている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>原生自然環境保全及び自然環境保全地域の保全は、生物多様性の保全上重要であるが、他の事業と効果的に連携することを検討するなど、効率的な事業実施に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>他の事業と事業を実施する箇所及び内容の重複がないように整理することとし、事業内容を重点化することにより、概算要求額を減額。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	152

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. (株)地域環境計画			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	のべ51人日	0.8			
旅費	交通費	0.2			
一般管理費		0.8			
その他		0.1			
計		1.9	計		0.2
B. (株)総合環境計画			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	のべ33人日	0.9			
旅費	調査旅費1回	0.4			
消耗品費	調査用具	0.1			
一般管理費		0.1			
計		1.5	計		0
C. NPO法人EnVision環境保全事務所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	衛星画像購入	4.0			
人件費	データ収集、ヒアリング等	1.8			
旅費	ヒアリング及び打合せ	0.2			
その他	一般管理費・レンタカー・報告書代等	1.5			
計		7.5	計		0
D. (株)環境工学			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		3.8			
本業務は請負契約であり成果物の対価として 支払いを行うものであるため、精算報告書等 の提出を要さないが、国費の支出の透明性を 図るため任意で提出依頼を行ったところ回答 を得ることができなかった。					
計		3.8	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	自然環境保全地域等の調査目録及びウェブサイトを作成	1.9	2	83.6
2					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)総合環境計画	白髪岳及び稲尾岳自然環境保全地域のモニタリングマニュアル作成	1.5	9	39.8
2					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人EnVision環境保全事務所	遠音別岳原生自然環境保全地域の調査、調査結果の分析・評価	7.5	1	91.6
2					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境工学	白神山地自然環境保全地域の調査、調査結果の分析・評価	3.8	5	85.6
2					